

**2014年度 第3回材料研究会シンポジウムのご案内**  
**テーマ：福島除染に関する現状と問題点**

福島事故が起こり、既に3年が経ちました。環境省の計画では、仮置き場の本格搬入開始から3年程度(平成27年1月)を目途として、中間貯蔵施設の供用を開始する予定になっています。ここには、福島県内の土壌・廃棄物のみが対象とされています。しかしながら中間貯蔵施設への運搬をとってみても、解決しなければならない問題が山積しています。特に減容化技術の開発が重要性を持ってくるものと思われまます。

今回、セシウムの動態について対象を土壌に限らず、下水処理汚泥、建材等について、どのように考えたらよいかについての講演を頂くことにしました。また超電導技術が汚染土壌減容化に利用が可能かについても検討いただきます。ふるってご参加いただきますようお願いいたします。

**日 時**：講演会 2014年11月4日(火) 13:30-16:30

**場 所**：除染情報プラザ 福島県福島市栄町1-31 セミナールーム  
023-529-5668 JR福島駅東口より約400m

**プログラム**

- 13:30-13:40 開会のあいさつ 低温工学材料研究会
  
- 13:40-14:20、汚染下水汚泥の現状と問題点  
酒井保蔵(宇都宮大学)
- 14:20-15:00、建材、土壌中のCsの微視的動態と問題点  
秋山庸子(大阪大学)
- 15:00-15:10 休憩
- 15:10-15:50、汚染土壌の減容化に関する考察  
野村直希(大阪大学)
- 15:50-16:20、効果的な除染のためのサイトの決定方法  
福井聡(新潟大学)
- 16:20-16:30 閉会のあいさつ 電気学会調査専門委員会

**オーガナイザー**：西嶋茂宏(大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻)

**共催**：電気学会「超電導磁気分離システムを利用した除染技術」調査専門委員会

**問い合わせ先**：大阪大学工学研究科環境エネルギー工学専攻

西嶋茂宏 TEL:06-6879-7896 nishijima@see.eng.osaka-u.ac.jp